

えひめ女性活躍推進事業【愛媛県】

地域の実情と課題

本県では、平成26年度に県内経済団体16団体等を構成団体とする「えひめ女性活躍推進協議会」が設立され、年度末に「行動宣言」を採択した。

27年度には構成団体が22団体に増え、ワーキンググループを設置する等組織の充実・オール愛媛体制の強化を図ってきたところであるが、一方で、企業単位での取組を見ると、セミナーや講演会の実施により意識啓発は徐々に進むものの、県内企業の90%以上を占める中小企業では、依然として女性活躍推進に係る具体的な目標設定等にどう取り組んで良いかわからず、専門家による支援を求める声がある等の課題が浮き彫りになった。

事業の特徴

意欲ある女性が活躍できる環境を企業等が整備することが重要であり、県内の大半を占める中小企業を主な対象として事業に取り組んだ。

- ・企業経営支援の専門家をアドバイザーとして養成・派遣し、中小企業の計画的、具体的な取組を促進し、女性活躍に関する理解促進を図る。
- ・県内中小企業の、ロールモデルの育成等に関する他社事例の共有を望む声に対応して、経営者と働く女性とロールモデルが意見交換をして、双方の意識改革や各社での取組を促進を図る。

事業の効果

従業員10～300人の県内企業のうち、新たに女性登用等の自主目標を設定した企業は275社(301人以上の企業 11社、10人未満105社 計391社)であった。

目的・目標

女性活躍推進法では、従業員数301人以上の事業主に一般事業主行動計画の策定が義務付けられているが、県内企業の大半は、努力義務である300人以下の中小企業であることから、これらの企業にも自主的・具体的に女性活躍に取り組んでもらうため、従業員数10～300人の県内企業のうち、新たに女性登用等の自主目標を設定する企業700社以上(平成27～29年度の3年間)とした。

連携団体

「えひめ女性活躍推進協議会」

平成26年8月に民間主導で設立。

地域経済団体、地域関連団体、男女共同参画推進団体、女性支援NPO・大学等、女性職員代表などが参加(このほか、オブザーバーとして労働局、県・市、地域金融機関も参加)。

設立時は16団体であったが、27年度には22団体に増えたほか、新たにワーキンググループを設置する等、組織の充実・オール愛媛体制の強化を図っている。

今後の課題

中小企業等において女性活躍を含め、誰もが働きやすい環境づくりに着手してもらうにはトップの意識改革が課題であると認識し、1月から愛媛県版イクボス「ひめボス」推進キャンペーンを実施し、女性活躍と働き方改革に取り組んでいるところである。これらの取組等により、機運醸成が図られつつあり、さらに女性活躍の流れをオール愛媛に浸透させ、中小企業の取組を促進する必要がある。

えひめ女性活躍推進事業

1 女性活躍推進アドバイザー養成・派遣事業

○内容

企業経営者が目標設定や制度導入等、企業経営における意思決定を行う際に重要な役割を担う企業経営支援の専門家に対し、女性活用の経営効果や女性活躍推進法の趣旨等を周知啓発することにより、企業における女性活躍推進の取組を加速させるため、中小企業診断士等の専門家を女性活躍推進アドバイザーとして養成し、支援要望のある中小企業に派遣する。

○対象 社会保険労務士、税理士、中小企業診断士等 49名
(受講修了後、女性活躍推進アドバイザーとして登録)

○養成講座講師 愛媛労働局雇用環境・均等室、厚生労働省女性活躍推進アドバイザー及び県事業概要説明等

○女性活躍推進アドバイザー派遣企業数 196社

2 ロールモデルによるワークショップ等開催

○内容

キャリアコンサルタント等(県内講師)の指導のもと、県内企業のロールモデルを交えて、企業経営者や管理職と女性職員がロールモデル育成や女性の継続就労・登用等について議論・意見交換を行い、双方の意識改革や各社での取組を促進する。

○開催 東予:平成28年10月20日(木) 参加者29名
ロールモデル:(株)タイワ 近藤智佳さん、
協同組合一宮開発グループ 藤田りえ子さん
中予:平成28年11月14日(月) 参加者29名
ロールモデル:(株)愛媛トヨタ自動車 和泉智子さん、
(株)パルソフトウェアサービス 東灘真希さん
南予:平成28年11月16日(水) 参加者34名
ロールモデル:オレンジベイクス(株) 上田日登美さん、
企業組合津島あぐり工房 山下由美さん

○3地区共通:コーディネーター 木曾千草さん

